

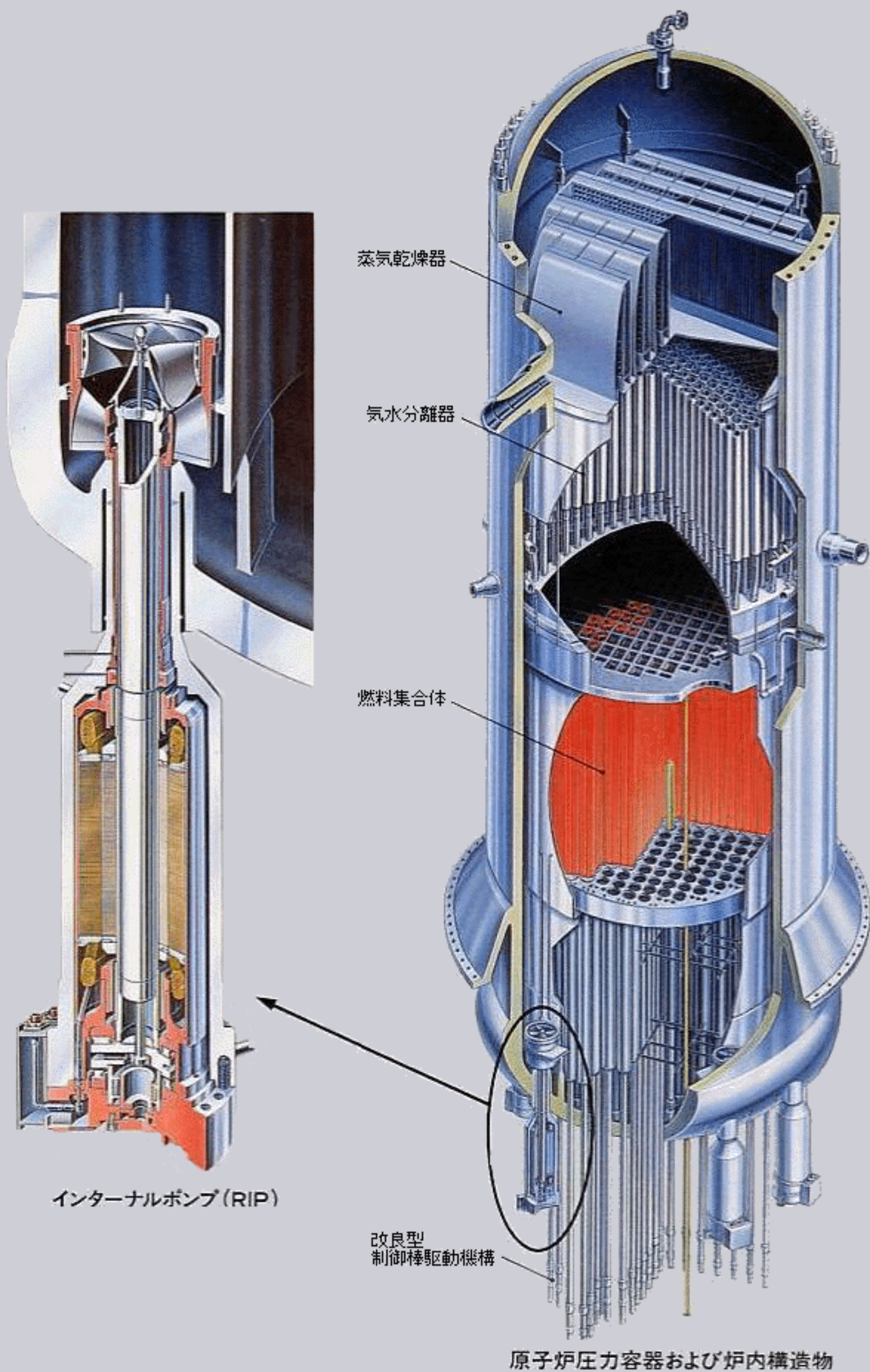
ABWR	改良型沸騰水型発電炉	改良型BWR
------	------------	--------

改良型沸騰水型発電炉 かいりょうがたふっとうすいがたはつでんろ

Advanced Boiling Water Reactor の略称である。「改良型沸騰水型発電炉」のこと。従来の沸騰水型炉（BWR）より一層の信頼性、安全性の向上、稼働率・設備利用率の向上、廃棄物量の低減、運転性・保守性の向上及び経済性の向上を目指した炉。改良設計された主要設備は、（１）インターナルポンプ（RIP）、（２）改良型制御棒駆動機構（改良型CRD）、（３）主蒸気流量制限器、（４）非常用炉心冷却設備（ECCS）、（５）鉄筋コンクリート製原子炉格納容器（RCCV）、（６）タービン、（７）湿分分離加熱器、（８）デジタル技術及び新型中央制御盤、などに及んでいる。

<登録年月>

2001年09月



A BWRの原子炉容器構造とインターナルポンプ

〔出典〕 東京電力：改良型BWRの概要、1996年11月、p9